

【R4】全国版空き家バンクの物件数増加及びマッチング促進事業（LIFULL）

別添資料4

- LIFULL HOME'S空き家バンクの運営事業者として、自治体の空き家対策事業の実態調査及び支援システムの構築検討と、都市と地方をよりマッチングさせつつ、サイトの利用価値向上を図る取り組みを実施しました。

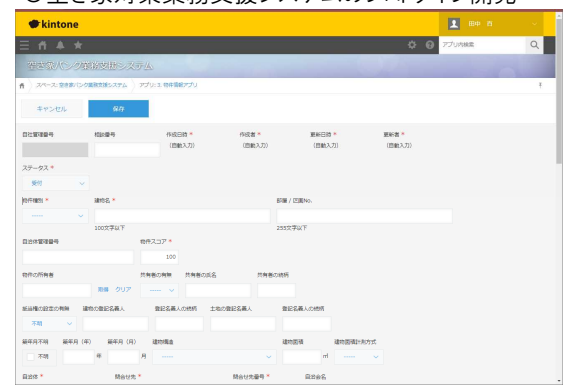
■ 事業概要

事業部門	部門3 ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取組を行う事業
事業地域	全国
背景・課題	<ul style="list-style-type: none"> LIFULL HOME'S空き家バンクは開設から5年が経過する中で、登録物件数がなかなか増えておらず、全国で発生している空き家の活用促進に向けて、自治体の空き家対策事業をサポートする更なる取り組みが必要となっている。 空き家特措法により、除却が進められた空き家の跡地についても、自治体が管理すべき不動産として抱えられている中で、空き家バンクを通じて利用希望者(事業者)にマッチングを促進していく必要がある。
目的	<ul style="list-style-type: none"> 全国版空き家バンクで公開される物件を増やし、マッチングを増やすためには、現在二重・三重の手間となっている、市町村が全国版空き家バンクを始め、複数のサイトを運用することのコストの抜本的に低減し、また自治体へのお問い合わせを増やすことによる全国版空き家バンクの利用することのメリットを増加させる。 物件情報だけでなく、自治体情報(まち情報)をPRすることで、広い地域でのマッチングを促進させる。 所有者不明土地への対応状況を調査し、将来的に利用者とのマッチングサイトを運営するための条件や留意点を整理する。
連携する団体・役割	<ul style="list-style-type: none"> LIFULL HOME'S空き家バンク参画自治体: 空き家対策業務の実態・所有者不明土地に関するアンケートへのご協力 先進自治体(奈良県空き家コンシェルジュ・滋賀県米原市): 空き家対策業務支援システムのニーズヒアリング アットホーム株式会社: 所有者不明土地に関する自治体調査のリストのご協力

■ 以下の取り組みを実施しました。

- 空き家バンクを運営する自治体の空き家対策業務の負担・実態の調査
- 空き家対策をサポートする業務支援システムの企画・プロトタイプ開発
- 空き家バンクの画面デザインの変更・自治体のPR機能の追加
- 所有者不明土地の管理する自治体の空き家バンク利用ニーズの調査
- 新規参画を増やすための自治体向け周知活動(リーフレット・セミナー)

○空き家対策業務支援システムのプロトタイプ開発



Kintoneを利用し、所有者・利用者・物件情報を一元管理しつつLIFULL HOME'S空き家バンクとの情報連携もできるシステムを検討・開発しました。

○空き家バンクの画面デザインの変更



単なる物件紹介サイトに留まらない、地域の特徴や、まちの人の声がかかるサイトになるよう改修しました。